



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 キング

コード番号 8118 URL <http://www.king-group.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門管掌 (氏名) 石井 修二

TEL 03-5434-7282

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,419	△4.1	374	12.6	503	13.5	291	40.1
23年3月期第2四半期	6,693	△11.3	332	△13.2	443	△14.5	207	△27.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 244百万円 (67.5%) 23年3月期第2四半期 146百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.23	—
23年3月期第2四半期	9.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,329	18,060	84.7
23年3月期	21,519	17,961	83.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 18,060百万円 23年3月期 17,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	△2.5	700	△6.6	940	1.4	480	34.8	21.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	24,771,561 株	23年3月期	24,771,561 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,785,039 株	23年3月期	2,717,079 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	22,015,673 株	23年3月期2Q	22,054,582 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災以後、復興支援などによる個人消費の回復の兆しは一部に見られますものの、世界的な景気減速懸念や円高の長期化等の要因により、国内景気と個人消費の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

ファッション業界におきましても、震災後の消費マインドの冷え込みから個人消費は低迷し、非常に厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと当社グループでは、ファッションビジネスに不可欠な「科学」と「感性」のバランスを時代に合わせて見つめ直し、ベターアップゾーンでのクリエイションと店頭展開に特化し、「選択と集中」、「徹底した独自性の追求」を基本方針に、各事業毎の方針を執着心を持って実行すると共に、生産性の向上や経費の節減に努めてまいりました。

その結果、売上高は64億19百万円（前年同期比4.1%減少）、経常利益は5億3百万円（前年同期比13.5%増加）となり、四半期純利益は2億91百万円（前年同期比40.1%増加）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりであります。

(アパレル事業)

高品質・高感度の「強いものづくり」の継続を基本に、商品力やブランドロイヤリティの更なる向上、複合ブランドショップ開発を推進すると共に、「店頭活性化マニュアル」の徹底活用、店頭演出力の再整備、アクセサリーの役割強化等、店頭運営力の向上を図ってまいりました。しかしながら売上高は、東日本大震災による個人消費の低迷が影響し、56億84百万円（前年同期比4.6%減少）となりましたが、営業利益は、売上総利益率の向上や経費の節減効果等により、3億80百万円（前年同期比3.4%増加）となりました。

(テキスタイル事業)

「プリントのプロ集団」である企画提案型テキスタイルコンバーターとして、意匠企画力の向上による高感度・高品質商品の提供を行うと共に、新規得意先の開拓にも注力いたしました結果、売上高は7億35百万円（前年同期比0.1%増加）、営業利益は24百万円（前年同期比170.2%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は213億29百万円となり、前連結会計年度末比1億89百万円の減少となりました。

流動資産は100億75百万円となり、前連結会計年度末比65百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金、並びに繰延税金資産の減少と商品の増加によるものであります。また、固定資産は112億53百万円となり、前連結会計年度末比1億23百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は32億69百万円となり、前連結会計年度末比2億88百万円の減少となりました。

流動負債は24億1百万円となり、前連結会計年度末比2億44百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び賞与引当金の減少によるものであります。また、固定負債は8億67百万円となり、前連結会計年度末比43百万円減少いたしました。これは主に、長期未払金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は180億60百万円となり、前連結会計年度末比99百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加とその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

なお、自己資本比率は、84.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、18百万円減少（前年同四半期は6億65百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上とたな卸資産の増加、法人税等の支払などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、99百万円減少（前年同四半期は9億68百万円減少）となりました。これは主に、店頭内装設備への支出などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億50百万円減少（前年同四半期は2億3百万円減少）となりました。これは主に、自己株式の取得と配当金の支払によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ、2億68百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末の残高は49億30百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月10日に公表いたしました平成24年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成23年11月8日）公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,268	5,930
受取手形及び売掛金	1,680	1,657
商品	1,773	2,162
原材料及び貯蔵品	51	42
繰延税金資産	193	140
その他	264	226
貸倒引当金	△91	△83
流動資産合計	10,141	10,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,286	2,284
土地	3,558	3,558
その他(純額)	397	383
有形固定資産合計	6,242	6,226
無形固定資産	54	49
投資その他の資産		
投資有価証券	1,022	933
長期貸付金	21	18
繰延税金資産	208	210
投資不動産	2,526	2,506
差入保証金	753	758
その他	635	602
貸倒引当金	△86	△52
投資その他の資産合計	5,080	4,978
固定資産合計	11,377	11,253
資産合計	21,519	21,329

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,197	1,074
短期借入金	380	380
未払法人税等	157	134
賞与引当金	285	196
役員賞与引当金	11	5
返品調整引当金	7	7
災害損失引当金	16	—
その他	591	604
流動負債合計	2,646	2,401
固定負債		
長期借入金	50	50
退職給付引当金	313	303
資産除去債務	93	98
長期未払金	227	177
その他	226	238
固定負債合計	911	867
負債合計	3,557	3,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	8,169	8,328
自己株式	△744	△757
株主資本合計	17,898	18,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	16
その他の包括利益累計額合計	62	16
純資産合計	17,961	18,060
負債純資産合計	21,519	21,329

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,693	6,419
売上原価	3,111	2,914
売上総利益	3,581	3,505
販売費及び一般管理費	3,248	3,130
営業利益	332	374
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	18	18
受取地代家賃	104	130
貸倒引当金戻入額	—	10
その他	34	44
営業外収益合計	170	214
営業外費用		
支払利息	2	2
賃貸費用	50	82
その他	7	1
営業外費用合計	60	85
経常利益	443	503
特別利益		
固定資産売却益	0	2
貸倒引当金戻入額	19	—
特別利益合計	20	2
特別損失		
固定資産除却損	58	5
投資有価証券売却損	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	72	—
特別損失合計	130	9
税金等調整前四半期純利益	332	496
法人税、住民税及び事業税	56	122
法人税等調整額	67	82
法人税等合計	124	204
少数株主損益調整前四半期純利益	207	291
四半期純利益	207	291
少数株主損益調整前四半期純利益	207	291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	△46
その他の包括利益合計	△61	△46
四半期包括利益	146	244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146	244
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	332	496
減価償却費	203	249
その他の償却額	13	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	72	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18	△41
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△100	△89
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△5
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△4	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△12	△10
受取利息及び受取配当金	△31	△29
支払利息	2	2
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△2
固定資産除却損	58	5
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	3
売上債権の増減額 (△は増加)	302	56
たな卸資産の増減額 (△は増加)	189	△380
仕入債務の増減額 (△は減少)	△185	△121
その他	55	△28
小計	867	114
利息及び配当金の受取額	33	28
利息の支払額	△1	△1
災害損失の支払額	—	△13
法人税等の支払額	△233	△145
営業活動によるキャッシュ・フロー	665	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	△1,000
定期預金の払戻による収入	—	1,070
有形固定資産の取得による支出	△463	△166
有形固定資産の売却による収入	4	2
無形固定資産の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	8
貸付けによる支出	△3	△3
貸付金の回収による収入	9	6
差入保証金の差入による支出	△52	△35
差入保証金の回収による収入	44	30
その他	△1	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△968	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△5	△5
自己株式の取得による支出	△0	△13
配当金の支払額	△198	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△203	△150
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△506	△268
現金及び現金同等物の期首残高	5,896	5,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,389	4,930

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,958	735	6,693	—	6,693
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	30	41	△41	—
計	5,969	765	6,734	△41	6,693
セグメント利益	368	9	377	△45	332

(注) 1. セグメント利益の調整額 △45百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △46百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,684	735	6,419	—	6,419
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	37	57	△57	—
計	5,703	773	6,477	△57	6,419
セグメント利益	380	24	405	△30	374

(注) 1. セグメント利益の調整額 △30百万円には、セグメント間取引消去 △1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △29百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。